

## 2021年度 事業計画

施設名 玉堤つどいの家

### 1 利用状況

事業種別： 生活介護 定員 13人 利用者数 13人

#### (1) 障害支援区分

区分6	11人	区分5	2人	区分4	0人
区分3以下	0人	計		13人	

#### (2) 障害の程度

		身体障害者手帳				計
		1級	2級	3～7級	なし	
愛の手帳	1度	1人				1人
	2度	1人				1人
	3～4度					0人
	なし	10人	1人			11人
計		12人	1人	0人	0人	13人

#### (3) 年齢、性別

10代以下	0人	40代	2人	男性	7人
20代	2人	50代	4人	女性	6人
30代	5人	60代以上	0人	計	13人
計			13人		

※平均年齢：41.1歳（4月1日現在）

## 2 事業実施状況

### (1) 活動・支援の内容

#### 概要

- ・ 障害者総合支援法施行規則第二条の四に規定する、入浴、排せつ及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な援助を要する障害者であって、常時介護を要するものにつき、主として日中において、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。
- ・ 活動や行事の中で考え楽しみながら、外出や宿泊といった日常生活だけではなかなか体験できない機会を持ち、様々な場面で「自由に挑戦できる方法を一緒に考え、実践する」ことを目指していく。
- ・ 前例踏襲にとらわれず、利用者の意向や体力等に合わせ柔軟に諸活動を実施していく。人とのつながりを感じられ、日頃の感謝を伝えられる機会を持つ。
- ・ コロナ禍のため昨年同様、活動・行事ともに感染対策を行い、安全を第一に実施していく。

### (2) 地域交流

- ・ 昨年度同様、直接「玉堤支え合いの会」（地元町会のボランティア）のメンバーと対面による交流は困難な状況であると予想されるため、別の形での交流を模索する。
- ・ 地域古着回収活動に関する場所（正面駐車場）の提供。
- ・ コロナの状況をみながら、地域行事への参加など、交流機会を確保する。

### (3) 家族、関係機関との連携等

- ・ 保護者会や新年会の開催は今後のコロナの状況を見極めながら、適宜文書での情報共有や、電話等でのやりとりでの意向確認なども視野に入れて準備を進める。
- ・ 相談支援関連のモニタリングのため電話やFAX、オンライン等を活用した情報提供をしながら、関係機関との支援の連携を図っていく。また、利用者が短期入所・緊急入所・自立体験等実施する場合は、施設等との情報共有やフォローを適宜行う。

### (4) ボランティアや実習生の受入れ

- ・ 例年受入れをしている、夏のボランティア体験、介護等体験(教職員養成課程)、玉川聖学院、田園調布学園、セントメリー学園(年2回)、玉堤小車椅子体験会は、昨年同様今年も受入れの困難が見込まれるため、リモートによるつながりなどを模索していく。
- ・ 光明学園の実習生のみ、感染対策を徹底して受入れていく。

### (5) 危機管理

- ・ 防災訓練については、建物合同では困難なため施設単独で実施していく。
- ・ 感染症(インフルエンザ・新型コロナウイルス等)の予防対策は昨年同様、徹底して実施していくが、万が一新型コロナウイルスに感染してしまった場合、困難なケースも予想されるため具体的な対応策を検討していく。
- ・ 地震や水害等に備え、備品の整備は継続していく。

### (6) 職員研修の実施

- ・ 法人内での「研修計画」に沿って、常勤職員を参加させる。
- ・ オンラインを中心とした研修等を活用しながら、職員一人ひとりのスキルアップに取り組んでいく。

## 3 重点課題と取組・成果

2021年度は以下の点を重点課題として取り組む。

### ① 利用者の健康管理・維持

昨年度、新型コロナウイルスの影響で保健福祉センターが使用できなくなり、当所での健診の実施が中止となった。利用者の身体機能の低下や健康状態の把握等のため、今年度の健診を実施するとともに引き続き、感染症対策を徹底していく。

### ② フェイスシート等の書類の整備

高齢化による二次障害や疾病に少しでも早く気づき、QOLの低下につながらないよう介助者間の支援内容の把握・共通認識を大切に、基本となる情報を一人ひとりの現状やニーズに合わせてさらなる見直しを行なう。また、急な病院や遠方の短期入所の利用が必要になった場合でも支援がスムーズにできるよう介助方法や医療面等をまとめた資料も併せて整備していく。  
今年度、第三者評価を実施予定。

### ③ 30周年式典に向けての準備

30年の歴史を振り返りつつ、コロナ禍の中でできる工夫をし、「東北沢つどいの家40周年」とともに冊子作り等、記念に残る取り組みを実施していく。また、利用者の“過ごしやすい施設”や職員の“働きやすい施設”として、「玉堤つどいの家」のこれからの在り方や法人の中での役割を考える機会としていく。